

事業番号	024
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	事務機器管理事業						担当部	総務部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	総務課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文書法規係		
	総合計画 分野別計画	主目的	7 自治体経営		31 行政運営		4 効果的・効率的な行政運営を推進します				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	1	目	3	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	コピー機、印刷機等の事務機器の配備をし、市役所の業務が円滑に行われるようする。									
	内容 (手段)	<p>○25年度実施内容 資料等のコピー・印刷を行うための事務機器(コピー機12台、印刷機4台)を借上げ、庁内に配置した。 コピー機、印刷機のうちそれぞれ1台、カラー対応のものを配置 来庁者の利便を図るため、庁舎内に2台の有料コピー機を設置した。 機器が正常に動くよう、メンテナンスを行った。 機器が常時使用可能となるよう、コピー紙、印刷機のマスター及びインクを購入した。 コピー室及び印刷室の使用済インク等の返却、使用済用紙の整理等を適宜行い、執務環境の整備に努めた。</p> <p>○25年度直接経費の内訳 コピー用紙、インク等の消耗品(5,947千円) 機器の修繕料(60千円) 裁断機の研磨(25千円) 印刷機、帳合機の保守点検委託(430千円) コピー機、印刷機の借上げ(4,842千円)</p> <p>○26年度直接経費の内訳 コピー用紙、インク等の消耗品(7,500千円) 事務機器の修繕料(50千円) 裁断機の刃の研磨手数料(44千円) 帳合機の保守点検委託(267千円) コピー機、印刷機の借上げ(5,800千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	11,318	10,076	11,306	13,661	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,578	1,578	1,578	1,578
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	12,896	11,654	12,884	15,239		
対前年比	%		90.3	110.5	118.2			
財源	一般財源	千円	12,622	11,385	12,674	15,039		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	274	269	210	200		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	コピー機、コインコピー機借上げ台数	台	目標	12	12	14
実績				12	14	14	
	印刷機借上げ台数	台	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	
	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			目標	12	12	14	14
	コピー機借上げ台数	台	実績	12	14	14	
			目標	4	4	4	4
	印刷機借上げ台数	台	実績	4	4	4	
			目標				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	前年度に引き続き庁舎各階にコピー機を配置した。また、カラー印刷機を導入したことにより、印刷時間が短縮されたため、業務を効率的に行うことができた。				
		事業実施における課題	コピー機はスキャナ機能を有しているが、職員の多くが知らない、又は使いこなしておらず、コピー枚数が一向に減らない。 コピーが多いため、故障が多くなる。 カラーコピー機とカラー印刷機が各1台あり、使用頻度、使用目的等を考慮のうえ、併用するかどちらか一方のみとするか検討を行う必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	現在の事務機器の配備は、業務上、過不足ない状況と判断する。 配備機器の減少は、事務の停滞につながる懸念される。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	コピー機の性能を十分に活用できるよう、職員へスキャナ機能を周知するとともに、紙の使用削減に取り組む。 カラーコピー機の契約期間がH27. 10までであり、上記課題のとおり、今後のカラーコピーとカラー印刷機の必要性を判断する。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの (対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	上記のとおり、現状は、事務機器を適正に配置できており、過不足ない状況であるため、現状維持と判定した。 ただし、今年度の上記課題の検討状況によっては、縮小もあり得る。					
	27年度以降の改善案	H25、12にカラー印刷機を導入したため、市役所全体の印刷物の外注が減るよう、27年度当初予算編成に向け財政課と連携を図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。